

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	1 生涯学習機会の充実			

事業名		社会教育委員事業				SDGs		4、17			
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	社会教育委員会議									
	どのようにしたいか(意図)	より良い会議運営を行うとともに、社会教育委員からの意見を参考にして、社会教育に関する諸計画の立案や振興方策等に役立てます。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)			
		186			249 134%			338 136%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	0			0 0			0 0			
	その他特定財源	0			0 0			0 0			
	一般財源	186			249 134%			338 136%			
職員数(人)		0.03			0.05 167%			0.07 140%			
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-									
指標②		-									
主な事業内容		社会教育委員会議の実施(主な議題は以下のとおり) ・前年度事業実績及び当年度事業計画 ・翌年度における取組 ・2025年度研究発表に向けた小委員会の開催									
成果		社会教育委員会を2回開催し、各委員からの意見聴取や自由討議の時間を新たに設けるなど、会議の内容について改善を行いました。また、社会教育委員連絡協議会東尾張支部における研究発表会に向けた準備かつ活発な意見が出されるような会議運営のため、小委員会を3回開催しました。									
課題		会議内容の改善により、教育委員会の諮問に対して意見が出されるようになりましたが、社会教育に関する諸計画の立案には至っていません。									

評価視点										総合評価		
必要性			有効性				効率性			A A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討		
		○				○			○			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充					・引き続き、社会教育委員より活発な意見が出されるような委員会運営を行います。						
	現状維持			○		・研究発表会に向けた準備かつ研究を進めるとともに、社会教育に関する諸計画の立案に向けて、小委員会を開催します。						
	縮小											
	休廃止											
		増減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58	頁	
	施策	1 生涯学習			取組	1 生涯学習機会の充実						
事業名		社会教育一般管理事業				SDGs	4、17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係										
目的	誰を・何を(対象)	住民										
	どのようにしたいか(意図)	社会教育活動の機会の提供や活動を支援することにより、住民の自主的な活動を活発にします。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		3,427			3,917 114%			4,885 125%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	3,427			3,917 114%			4,885 125%				
職員数(人)		0.25			0.29 116%			0.44 152%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率	
指標①		高齢者教室の定員数に対する参加率								%		
		-	-	-	-	-	-	85	80		106%	
指標②		生涯学習あんない「いきいき生涯学習ネット」掲載団体数(サークル編)※体育・スポーツ及び福祉関係除く。								団体		
		90	120	75%	122	120	102%	121	120		101%	
主な事業内容		①高齢者教室委託事業(老人クラブの企画による高齢者向け講座) ②講座教室の内容を冊子にした「生涯学習あんない」を発行 ③家庭教育事業(家庭教育講座) ④親子ふれあい委託事業										
成果		①高齢者教室委託事業は新型コロナウイルス感染症の影響により中止していましたが、3年ぶりに開催しました。 ②「生涯学習あんない」講座・イベント編(年2回)、サークル編(年1回)を発行することにより、生涯学習情報を提供できました。 ③家庭教育に係る講演会を実施することで、親子のコミュニケーション術を学ぶ機会を提供しました。 ④親子ふれあい委託事業は北中おやじの会の活動により実施することで親子のふれあいの機会を提供しました。										
課題		①高齢者教室は地域の特性に応じた内容とするため、各地区の老人クラブに委託していますが、教室の企画・運営が負担となっている地区もあります。 ②「生涯学習あんない」の講座実施後、講座受講が一過性にならず、受講者がサークルを組織し、継続につなげていく働きかけが必要です。										
評価視点								総合評価				
必要性		有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・廃止を検討				
低い やや低い やや高い 高い		低い やや低い やや高い 高い			低い やや低い やや高い 高い			A				
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充				①老人クラブに委託することで、高齢者による高齢者のための講座を催す仕組みとなっています。老人クラブの負担が大きにならないよう、サポートをしながら事業を進めていきます。 ②「生涯学習あんない」は、講座受講者がサークルを組織し継続してもらうことで、生涯学習団体の増加が見込めます。魅力的な講座企画や運営を行い、参加者を増やし、定期的な活動を行えるように促していきます。							
	現状維持			○								
	縮小											
	休止											
		増減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

令和 5 年度 細事業評価シート (評価対象年度: 令和 4 年度)

事業名		担当課			生涯学習課 生涯学習係			
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	親子ふれあい委託事業	児童・生徒とその親、親の会	子どもとのふれあいの催しを実施することで	親子の思い出を作ってもらいます。	3,210	3,271	現状維持	現状維持
2	東浦町高齢者教室委託事業	高齢者、老人クラブ	高齢者による高齢者のための講座を実施することで	生きがいや学びの場を設けます。	309	540	現状維持	現状維持
3	PTA連絡協議会補助事業 (2022年度中止)	東浦町PTA連絡協議会	補助金を交付することによって	子どもの教育や地域貢献してもらいます。	0	72	現状維持	現状維持
4	婦人会補助事業	東浦町婦人会連絡協議会	補助金を交付することによって	地域に貢献してもらいます。	89	140	現状維持	現状維持
5	家庭教育事業	未成年の子を持つ親	講演を開催することによって	家庭教育への理解を深めます。	190	315	現状維持	現状維持
6	「生涯学習あんない」発行事業	住民	冊子を発行することによって	様々な講座・教室があることを知ってもらいます。	119	187	現状維持	現状維持
7	地域学校協働活動推進事業 (学校教育課から移管)	地域住民と学校	活動を推進することによって	学校を核とした地域づくりを図ります。	0	360	現状維持	現状維持
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					3,917	4,885	現状維持	現状維持

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	3 青少年育成の環境づくり			

事業名		青少年教育事業				SDGs		4、17			
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	青少年									
	どのようにしたいか(意図)	青少年自らが企画、運営に参加する機会を通して、考え行動する能力を養い、町や地域で活躍できる人材を育みます。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)			
		1,420			2,167 153%			2,310 107%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	57			21 37%			30 143%			
	その他特定財源	0			0 0			0 0			
	一般財源	1,363			2,146 157%			2,280 106%			
職員数(人)		0.26			0.41 158%			0.33 80%			
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		ミュージックフェスティバル参加者数									人
		-	-	-	-	-	-	306	350	87%	
指標②		成人式(二十歳のつどい)への出席率									%
		83	100	83%	84	85	99%	82	85	96%	
主な事業内容		①ミュージックフェスティバル委託事業 対象 音楽愛好家(実行委員会は青少年を中心に運営) 内容 音楽イベントの企画及び運営全般 ②二十歳のつどい委託事業 対象 20歳を迎える方(実行委員は町内3中学校の卒業生から選出) 内容 式の企画及び運営全般									
成果		①新型コロナウイルス感染症の影響により中止していましたが、3年ぶりに開催しました。 ②実行委員会を5回開催し、青少年自らが企画、運営に参加する機会となりました。 2023年1月8日二十歳のつどい 出席者:425名									
課題		①運営スタッフの入れ替わりがないため、青少年の協力者を増やす必要があります。 ②実行委員の自発的な行動もあまり見られないため、実行委員自ら考え行動する組織づくりが必要です。									

評価視点										総合評価	
必要性			有効性				効率性			A B C D	
			○			○				○	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充					①高校生参加の働きかけなどを行い、青少年の運営スタッフの増員に努め、年代を問わず参加できるものに改善していきます。 ②実行委員会では、委員主体で動かせるような会の運営に努め、魅力ある式典にしていこうと働きかけていきます。					
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性					

令和 5 年度 細事業評価シート (評価対象年度: 令和 4 年度)

事業名		担当課			生涯学習課 生涯学習係			
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	ミュージックフェスティバル委託事業	音楽愛好家	主に軽音楽によるコンサートイベントを実施することで	音楽の楽しさを体験させます。	350	400	現状維持	現状維持
2	二十歳のつどい委託事業	20歳を迎える方	20歳を迎える方への祝意を表し自ら実行委員会を組織し式を実施することで	20歳となった自覚を促します。	1,420	1,486	現状維持	現状維持
3	ボーイスカウト補助金事業	東浦ボーイスカウト第1団、第2団	補助金を交付することで	社会貢献を促します。	180	180	現状維持	現状維持
4	親子ふれあい事業	小中高生	イベントを企画し、実施に参加してもらうことによって	体験により子どもたちの内面の成長につなげます。	162	187	現状維持	現状維持
5	青少年対策事業	青少年	啓発等の実施によって	青少年の健全かつ善良なこころの成長につなげます。	55	57	現状維持	現状維持
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					2,167	2,310	現状維持	現状維持

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	66	頁
	施策	3 文化振興			取組	3 文化・芸術活動の推進					
事業名		文化芸術活動推進事業				SDGs	8, 17				
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	住民、参加者									
	どのようにしたいか(意図)	生活の中の潤いや安らぎ、創造の喜びのため、文化活動や芸術鑑賞ができ、学習の成果を発表するなどして、住民等が文化の創造と発展の主体となっています。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)			
		1,691			2,306 136%			2,006 87%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	124			166 134%			377 227%			
	その他特定財源	300			300 100%			0 0%			
	一般財源	1,267			1,840 145%			1,629 89%			
職員数(人)		0.18			0.19 106%			0.17 89%			
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)		2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値		達成率
指標①		うの花音楽祭の来場者数								人	
		-	-	-	-	-	-	200	350		57%
指標②											
主な事業内容		①文化協会補助金 ②うの花音楽祭委託事業の実施 ・実行委員 東浦町コーラス連盟 ・内容 合唱祭(音楽祭)の企画及び運営 ③落語を楽しむ会委託事業の実施 ・実行委員 落語を楽しむ会実行委員会 ・内容 落語家として活躍する地元出身者による寄席の企画及び運営									
成果		以下の事業を住民が主体的に取り組み実施することで文化芸術の振興に寄与しました。 ①文化センターの利用が再開し、年間を通して計画に沿った活動ができました。 ②新型コロナウイルス感染症の影響により中止していましたが、3年ぶりに開催しました。 ③2022年12月25日(日)に開催 来場者: 111名									
課題		①文化協会会員が高齢化しているとともに会員数が減少傾向にあります。新規に加入する人も少なく協会の会員数を維持できるかが課題です。 ②出演者が固定化しているため、一般団体の募集をしていますが、参加団体の年齢層や構成に偏りがあります。									
評価視点										総合評価	
必要性			有効性			効率性			A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・休止を検討		
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
		○				○					○
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等					
成果の方向性	拡充					①他の事業・イベントとのコラボなど、新規会員の獲得につながるよう文化協会を支援します。 ②一般団体の募集を行う際に、広報紙及びホームページのほか、LINEやTwitterといったSNSに加え、ポスターを作成するなど周知方法の検討を行います。参加団体を増やすことで祭典を盛り上げ、来場者数の増加につなげます。					
	現状維持				○						
	縮小										
	休止										
		削減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性					

令和 5 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 4 年度)

事業名		文化芸術活動推進事業			担当課		生涯学習課 生涯学習係	
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	盆踊り講習会事業	各地区コミュニティの住民	講師による盆踊り講習会を開催することで	盆踊りの練習機会を提供し地域振興に寄与します。	15	15	現状維持	現状維持
2	東浦町音楽祭委託事業	コーラス団体	うのはな音楽祭を開催することで	歌唱コーラスの振興と文化芸術の発展に寄与します。	180	180	現状維持	現状維持
3	講座等開催委託事業	住民	落語を楽しむ会を開催することで	落語を通して文化芸術への興味や理解を深めます。	425	425	現状維持	現状維持
4	文化協会補助事業	文化協会	補助金を交付して	文化芸術団体を支援しその振興発展を図ります。	1,686	1,386	現状維持	現状維持
5	著名人イベント事業 (2022年度未実施)	住民	著名人によるイベントの実施することで	文化芸術に触れる機会を作ります。	0	0	現状維持	現状維持
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					2,306	2,006	現状維持	現状維持

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり			項	2 生涯学習			掲載	58	頁		
	施策	1 生涯学習			取組	1 生涯学習機会の充実							
事業名		文化センター事業				SDGs		4, 17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係											
目的	誰を・何を(対象)	住民											
	どのようにしたいか(意図)	幅広い分野や専門性の高い内容の教室・講座を開催することで、サークル活動等を盛んにします。また、利用者自身で企画や立案、運営を行うマイスタディ講座やマイプロデュース講座を行い自主的な活動を促します。											
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額			対前年比(%)		2023(R5) 年度予算額		対前年比(%)	
		6,140			4,519			74%		4,763		105%	
財源内訳	国・県支出金	499			0			0%		0		0	
	受益者負担	265			351			132%		686		195%	
	その他特定財源	0			0			0		0		0	
	一般財源	5,376			4,168			78%		4,077		98%	
職員数(人)		0.95			0.82			86%		0.69		84%	
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位		
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率			
指標①		文化センターの新規教室・講座参加率									%		
		76	75	101%	86	75	115%	77	75	103%			
指標②		文化センターで実施する講座・教室の定員に対する受講率									%		
		80	75	107%	86	75	115%	79	75	105%			
主な事業内容		・子ども向け、託児付、青少年、料理、その他一般向け講座 ・マイスタディ講座(学びたい人が自ら企画・運営) ・マイプロデュース講座(教えた人が自ら企画・運営) ・ICTプログラミング講座											
成果		・新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、以下のとおり講座を実施したことにより生涯学習の振興及び自主的な活動の促進に寄与しました。 講座数 32講座 開催回数 86回 受講者数 370人 定員数 468人 受講率 79% うちマイプロデュース講座 講座数 6講座 開催回数 23回 受講者数 52人 定員数 61人 受講率 85% ・ICTプログラミング講座を実施し、将来的なICT教育の発展に向けた取組につなげることができました。 ロボットコース 開催回数 6回 受講者数 12人 定員数 12人 受講率 100% ゲームコース 開催回数 6回 受講者数 10人 定員数 10人 受講率 100%											
課題		・定員に満たない講座もあったため、住民のニーズを把握し、地域・世代間の連携・交流を促す講座など、興味を持ってもらえる講座の計画が必要です。 ・ICTプログラミング講座が、継続的かつ発展的に学ぶ機会を提供できるよう自立した地域型のICTクラブの設立につなげられるかが課題です。											
評価視点										総合評価			
必要性			有効性			効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・廃止を検討			
		○			○				○	B			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い				やや高い
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充				・講座終了時、受講者にアンケートを行い、ニーズを把握し、新規講座の開設や既存講座の改善につなげていきます。また、魅力的な講座名やキャッチコピーをつけるなど、住民に興味を持ってもらえるように広報活動をしていきます。 ・教室・講座開催方法の改善として企業や大学などと連携した講座の実施を検討します。 ・ICT教育の実施に向けた取組が継続的かつ発展的に学ぶ機会を提供できるよう、講師となる人材の育成に向けた受講対象者の拡大を考えていきます。								
	現状維持		○										
	縮小												
	廃止												
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性							

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	4 社会教育施設の整備			

事業名		文化センター施設整備事業			SDGs	4、11、17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	文化センター									
	どのようにしたいか(意図)	必要な改修工事等を行い、建物の性能を維持することで、長寿命化を図ります。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額		2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)		2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)					
		18,409		2,117 11%		50,606 2390%					
財源内訳	国・県支出金	0		0 0		0 0					
	受益者負担	0		0 0		0 0					
	その他特定財源	0		0 0		1 0					
	一般財源	18,409		2,117 11%		50,605 2390%					
職員数(人)		0.42		0.33 79%		0.39 118%					
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-									
指標②		-									
主な事業内容		文化センターの維持に必要な工事及び設計の実施。(軽微な修繕を除く) ①特定建築物定期調査結果への対応工事 ②エレベーター照明LED化工事 ③空調室内機部品取替工事 ④屋根等改修工事設計業務委託									
成果		①特定建築物定期調査の結果を受け、問題箇所を改善することができました。 ②エレベーター照明のLED化を行い、継続して設備を利用できるよう整備しました。 ③空調室内機を修理し、利用者が快適に施設を利用できるよう整備しました。 ④屋根等改修工事の設計業務を行い、施設の長寿命化に向けた工事に備えました。									
課題		建設から45年経過し、施設の老朽化が進んでいるため、今後も改修が必要になると考えられます。標準耐用年数の60年から目標耐用年数の80年まで施設を使っていけるように状態をみて計画的に改修していく必要があります。									

評価視点										総合評価	
必要性			有効性			効率性				A	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等						
成果の方向性	拡充				今後の改修について、劣化や故障がないか継続的に注視しながら計画的に実施していきます。2023年度については、屋根等改修工事や照明機器のLED化を実施し、施設の長寿命化を図ります。						
	現状維持			○							
	縮小										
	休止										
					コスト投入の方向性						
					皆減	縮小	現状維持	拡大			

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	4 社会教育施設の整備			

事業名		文化センター維持管理事業			SDGs		4、11、17				
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	文化センター									
	どのようにしたいか(意図)	住民が快適に施設を利用できるよう、適切な維持管理を行います。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額		2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		12,799		19,675 154%			27,441 139%				
財源内訳	国・県支出金	7,327		2,365 32%			0 0%				
	受益者負担	10		740 7400%			767 104%				
	その他特定財源	15		33 220%			38 115%				
	一般財源	5,447		16,537 304%			26,636 161%				
職員数(人)		1.01		1.34 133%			1.08 81%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-									
指標②		-									
主な事業内容		文化センターを運営していくための維持管理及び軽微な修繕 ・光熱水費の支払い ・消防設備、空調、エレベーター、受水槽、印刷機の保守点検 ・管理委託の実施 ・草刈り、植栽のせん定等の実施 ・設備の点検調整 ・公用車の点検整備									
成果		施設の各設備の検査点検、防犯警備委託及び光熱水費の支払いを実施し、適切な維持管理を行うことで、利用者が安心して使用できる施設を保つことができました。 ・水道の漏水が発生しましたが、迅速に対応し最小限の損害に抑えました。 ・消防設備が故障しましたが、迅速に対応し有事への備えを行いました。 ・敷地内において倒木の恐れのある樹木を伐採し、利用者の安全を確保しました。									
課題		設備の老朽化が原因と思われる故障等が多くなっています。									

評価視点												総合評価	
必要性				有効性				効率性				A・計画どおりに事業を進めることが適当 B・事業の進め方の改善の検討 C・事業規模・内容・主体の見直しを検討 D・事業の統合・休廃止を検討	
			○				○				○	A	
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い		
今後の方向性						事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充					・委託料や電気代などのコストについては、最適であるか定期的に前年度との比較等により確認していく必要があるため、引き続き確認を行います。 ・施設、設備に不具合が発生していないか保守点検の結果等の確認を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。							
	現状維持			○									
	縮小												
	休廃止												
		皆減		縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	1 生涯学習機会の充実			

事業名		地区コミュニティセンター等事業				SDGs		4、17			
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	住民									
	どのようにしたいか(意図)	地区の文化活動の拠点として、住民のみなさんのニーズに応じた各種教室・講座を開催することで生涯にわたって自由に学び、成果を活かすことができるようにします。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)			
		184			513 279%			456 89%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	119			245 206%			292 119%			
	その他特定財源	0			0 0			0 0			
	一般財源	65			268 412%			164 61%			
職員数(人)		0.15			0.16 107%			0.15 94%			
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		地区コミュニティセンター等の新規教室・講座参加率									%
		90	75	120%	86	75	115%	76	75	101%	
指標②		地区コミュニティセンター等で実施する講座・教室の定員に対する受講率									%
		84	75	112%	87	75	116%	85	75	113%	
主な事業内容		子ども向け、料理、運動、その他一般講座の実施									
成果		新型コロナウイルス感染症の影響があるなか、以下の講座実施数等により生涯学習の振興及び自主的な活動の促進に寄与しました。									
課題		夏休みにおける子ども向けの講座やヨガ教室などの人気がある講座だけではなく、新しい講座メニューを見つける試みが必要です。									

評価視点											総合評価	
必要性			有効性				効率性				A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・廃止を検討	
			○				○				○	A
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	
今後の方向性					事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の 方向性	拡充				地域による地域のための講座を開催していきます。また、各地区のニーズを把握して新規講座の開設や既存講座の改善につなげ、魅力的な講座名やキャッチコピーをつけるなど、住民に興味を持ってもらえるように広報活動をしていきます。							
	現状維持			○								
	縮小											
	廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性										

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	4 社会教育施設の整備			

事業名		地区コミュニティセンター等施設整備事業			SDGs	4、11、17					
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	地区コミュニティセンター(藤江を除く)及び藤江公民館									
	どのようにしたいか(意図)	必要な改修工事等を行い、建物の性能を維持することで、長寿命化を図ります。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額		2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)		2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)					
		58,714	42,322	72%	59,815	141%					
財源内訳	国・県支出金	0	0	0	0	0					
	受益者負担	0	0	0	0	0					
	その他特定財源	5	1	20%	1	100%					
	一般財源	58,709	42,321	72%	59,814	141%					
職員数(人)		0.22	0.36	164%	0.33	92%					
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-									
指標②		-									
主な事業内容		地区コミュニティセンター(藤江を除く)及び藤江公民館の維持に必要な工事及び設計の実施。(軽微な修繕を除く) ①トイレ改修工事(卯ノ里) ②空調機更新工事(石浜) ③舞台吊物改修工事(森岡、緒川、卯ノ里) ④電気設備フェンス改修工事(森岡) ⑤空調機更新工事設計業務委託(森岡)									
成果		①トイレの改修工事を行い、利用者が快適に施設を利用できるよう整備しました。 ②空調機の更新工事を行い、利用者が快適に施設を利用できるよう整備しました。 ③舞台吊物の改修工事を行い、利用者が安全に施設を利用できるよう整備しました。 ④電気設備フェンスの改修工事を行い、利用者が安全に施設を利用できるよう整備しました。 ⑤空調機更新工事の設計業務を行い、利用者の快適性の向上に向けた工事に備えました。									
課題		どの施設も建設から40年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、今後も改修が必要になると考えられます。標準耐用年数の60年から目標耐用年数の80年まで施設を使っていくように状態をみて計画的に改修していく必要があります。									

評価視点										総合評価			
必要性			有効性				効率性			A:計画どおり事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討			
			○				○						○
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い			やや高い	高い
A													
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等									
成果の方向性	拡充					今後の改修について、劣化や故障がないか継続的に注視しながら計画的に実施していきます。2023年度については、空調機更新工事や網戸取付工事等を実施し、施設の長寿命化及び利用者の快適性の向上を図ります。							
	現状維持			○									
	縮小												
	休廃止												
		削減		縮小	現状維持	拡大							
		コスト投入の方向性											

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	58	頁
	施策	1 生涯学習	取組	4 社会教育施設の整備			

事業名		地区コミュニティセンター等維持管理事業				SDGs	4、11、17				
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係									
目的	誰を・何を(対象)	地区コミュニティセンター(藤江を除く)及び藤江公民館									
	どのようにしたいか(意図)	住民が快適に施設を利用できるよう、適切な維持管理を行います。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)			
		26,872			34,370 128%			43,708 127%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	2,301			3,623 157%			3,263 90%			
	その他特定財源	106			212 200%			166 78%			
	一般財源	24,465			30,535 125%			40,279 132%			
職員数(人)		0.71			0.97 137%			0.88 91%			
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-									
指標②		-									
主な事業内容		地区コミュニティセンター及び藤江公民館を運営していくための維持管理及び軽微な修繕 ・夜間土日等の管理委託 ・保守点検(電気設備・消防用設備・空調設備) ・清掃委託 ・浄化槽維持管理委託 ・防犯警備業務委託 ・建築物定期検査委託 ・光熱水費の支払い等									
成果		施設の各設備の検査点検、防犯警備委託及び光熱水費の支払いを実施し、適切な維持管理を行うことで、利用者が安心して使用できる施設を保つことができました。 ・森岡コミュニティセンターでは、自動火災報知設備の修繕等を行いました。 ・緒川コミュニティセンターでは、空調機の修繕等を行いました。 ・卯ノ里コミュニティセンターでは、避難誘導灯の修繕等を行いました。 ・石浜コミュニティセンターでは、屋外タイルの補修等を行いました。 ・生路コミュニティセンターでは、空調機の修繕等を行いました。 ・藤江公民館では、漏水に伴う緊急修繕等を行いました。									
課題		設備の老朽化が原因と思われる故障等が多くなっています。									

評価視点										総合評価	
必要性				有効性				効率性		A	
			○				○				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充			・委託料や電気代などのコストについては、最適であるか定期的に前年度との比較等により確認していく必要があるため、引き続き確認を行います。 ・施設、設備に不具合が発生していないか保守点検の結果等の確認を行い、必要に応じて修繕を行っていきます。							
	現状維持		○								
	縮小										
	休止										
				削減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性			

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり		項	2 生涯学習		掲載	58	頁			
	施策	1 生涯学習		取組	2 図書館機能・サービスの充実							
事業名		中央図書館運営管理事業			SDGs	4、11、17						
担当課		教育部 生涯学習課 生涯学習係										
目的	誰を・何を(対象)	利用者										
	どのようにしたいか(意図)	図書館サービスを継続かつ発展させ、社会的環境の変化や利用者ニーズの多様化に対応し、図書館サービスを向上させます。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額		2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)		2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)						
		0		109,469 0		109,736 100%						
財源内訳	国・県支出金	0		0 0		0 0						
	受益者負担	0		10 0		11 110%						
	その他特定財源	0		80 0		165 206%						
	一般財源	0		109,379 0		109,560 100%						
職員数(人)		0.00		1.27 0		0.66 52%						
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		イベント・講座の開催数									件	
		9	16	56%	19	19	100%	22	15	147%		
指標②		-										
主な事業内容		2022年度から指定管理者制度を導入しました。 ・提案事業 ①電子書籍の導入 ②資料へのICタグの貼付 ③学習席予約システムの導入 ・図書館資料の収集と提供 ・よむらびフェスタを始めとする諸行事の企画・実施 ・子ども読書活動推進、ブックスタート事業での行政・ボランティアグループ等との連携 ・中央図書館の工事修繕										
成果		・電子書籍所蔵数: 848点 ・ICタグ貼付資料数: 31,479点 ・学習席予約システム: 学習席60席・カウンター席5席、6月28日導入 ・図書館資料の貸出し点数: 一般書113,835点、児童書125,823点、視聴覚資料11,286点、雑誌17,237点 ・各種講座、イベントの実施: 9講座、13イベント ・リサイクルフェアの実施: 本(2回)6,494冊、雑誌(1回)1,283冊 ・ブックスタート絵本交換率: 71.47% ・屋根防水改修工事										
課題		・電子書籍を導入しましたが利用数が伸びないため、利用者のニーズを把握し資料購入を進めるとともに、広くPRを行う必要があります。 ・2024年度末までに全ての資料にICタグが装備されるため、どのような形でICタグの活用を図るのか検討を行っていく必要があります。										
評価視点										総合評価		
必要性			有効性			効率性			A: 計画どおりに事業を進めることが適当 B: 事業の進め方の改善の検討 C: 事業規模・内容・主体の見直しを検討 D: 事業の統合・廃止を検討			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	A
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充				・電子書籍の利用促進を図るため、学校現場で利用してもらうための取組を進めます。 ・2025年度の図書館システム更新に合わせてICタグ対応機器を導入するため、先進図書館の事例などの情報収集を行い、検討を進めます。 ・ブックスタートの効果を高めるため、4か月健診時の引換券を取り止め、全員に絵本をプレゼントします。 ・郷土資料の有効活用を図り、施設相互のPRも兼ねて郷土資料館と連携した展示企画や講座を実施します。							
	現状維持			○								
	縮小											
	休止											
コスト投入の方向性												
増減				縮小	現状維持	拡大						

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度:令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁
	施策	3 文化振興	取組	2 郷土の伝統文化の継承			

事業名		文化財保護事業					SDGs		4、17			
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係										
目的	誰を・何を(対象)	文化財及び伝統文化										
	どのようにしたいか(意図)	・国・県・町指定文化財や郷土の伝統文化の保存継承活動を支援し、後世に伝えます。 ・町内に残る文化財を多くのみなさんに知ってもらい、文化財の保護へつなげます。										
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		2,556			3,981 156%			3,591 90%				
財源内訳	国・県支出金	17			17 100%			13 76%				
	受益者負担	0			0 0			0 0				
	その他特定財源	0			0 0			0 0				
	一般財源	2,539			3,964 156%			3,578 90%				
職員数(人)		0.74			0.72 97%			0.77 107%				
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位	
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率		
指標①		-										
指標②		-										
主な事業内容		①文化財保護審議会の開催 ②文化財説明板等の修繕等 ③天白遺跡ひろばPR動画の制作 ④文化財補助金の交付										
成果		①会議を開催し、文化財の保存等について意見をいただき、緒川地区史跡めぐりコース作成等に反映させることができました。 ・年3回開催 ②定期的に修繕することにより、文化財等そのものがある場所で周知し、身近にある文化財に触れることができました。 ・5基修繕(合計61基設置)。 ③天白遺跡ひろばを広くPRするため、地元の小学生にPR動画を制作してもらい、町ホームページで公開しました。 ④新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、地域の祭礼を中止した地区もありましたが、各保存団体は感染対策を講じて活動を行い、継承への取組が続けられています。 ・東浦町文化財保存事業費補助金交付要綱に基づき、指定文化財の所有者や保存団体等へ補助金を交付し、継承活動を支援しました。3団体160,000円										
課題		①文化財説明板は文章による説明が中心で写真等がないため、理解するのが難しいものもあります。 ②祭礼の本格的な実施が未だ難しい中、祭礼の継承が難しくなっています。また、地域の伝統文化に対して関心が低くなり、伝統文化の担い手が少なくなっています。										
評価視点							総合評価					
必要性		有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討				
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	A
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等								
成果の方向性	拡充				①学校と連携し、地域の文化財を紹介するPR動画を制作します。町のホームページへの掲載や、現地にある文化財説明板にQRコードを掲示し、動画による説明を追加していきます。 ②引き続き、町内各地域の伝統文化の保存会が集まって情報交換する機会を設けたり、活動を紹介して支援していきます。							
	現状維持			○								
	縮小											
	休廃止											
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性						

令和 5 年度 細事業評価シート (評価対象年度:令和 4 年度)

事業名		担当課			生涯学習課 文化財係			
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性	
		対象	手段	意図			成果	コスト
1	文化財保護審議会事業	文化財保護審議会委員	町指定文化財の指定等を審議してもらうことで	町内の文化財を保護します。	80	105	現状維持	現状維持
2	文化財保護事業	住民	文化財説明板等を設置や文化財PR動画を見てもらうことで	東浦町の歴史や文化財等を知ってもらいます。	3,741	3,286	現状維持	現状維持
3	文化財補助事業	指定文化財の所有者・保存団体等	補助金を交付して	指定文化財の保存・継承を図ります。	160	200	現状維持	現状維持
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
事務事業合計					3,981	3,591	現状維持	現状維持

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁
	施策	3 文化振興	取組	1 郷土の歴史・文化財の保存・活用			

事業名		郷土資料館事業				SDGs		4、17			
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係									
目的	誰を・何を(対象)	住民									
	どのようにしたいか(意図)	・郷土の歴史や文化財の情報発信・学習機会を提供し、東浦の歴史や文化財への関心や親しみを高め、郷土に対する愛着を持ってもらうきっかけとします。 ・ガイドボランティアを育成し、郷土の魅力を伝えます。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)			2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)			
		5,674			3,113 55%			4,967 160%			
財源内訳	国・県支出金	0			0 0			0 0			
	受益者負担	314			413 132%			712 172%			
	その他特定財源	0			0 0			0 0			
	一般財源	5,360			2,700 50%			4,255 158%			
職員数(人)		0.80			0.80 100%			0.80 100%			
主な事業実績(評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		郷土資料館で実施する講座・教室の定員に対する受講率									%
		96	75	128%	81	75	108%	94	75	125%	
指標②											
主な事業内容		①企画展の開催 ②東浦ふるさとガイド協会の育成支援のためのガイドボランティア養成講座の開催 ③東浦の歴史や文化財に関する講座や陶芸教室の開催									
成果		①春と秋の企画展に加え、ミニ企画展を開催し、郷土の歴史の情報発信を行いました。 ・春の企画展:「SDGsってなあに?ーはじめよう! 過去を学び、未来に向けてー」、入館者数2,824人 ・秋の企画展:「四季の風景展ー郷土ゆかりの画家たちー」、入館者数1,950人 ・ミニ企画展3回開催 ②空調設備の不具合により回数が少なくなりましたが、講座を開催しました。 ・ガイドボランティア養成講座:1講座1回、受講者数23人 ・東浦ふるさとガイド協会の会員数:35人(新規会員数0名) ③新型コロナウイルス感染防止のため講座の内容を工夫して開催し、郷土の歴史についての学習機会を提供できました。 ・歴史関係講座:8講座151人、陶芸関係講座:6講座48人									
課題		①企画展の情報を知らないという意見もあり、十分に周知できていません。 ②東浦ふるさとガイド協会の新規会員が増えず、会員の高齢化が進んでいます。									
評価視点								総合評価			
必要性		有効性			効率性			A:計画どおりに事業を進めることが妥当 B:事業の進め方の改善を検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討			
			○				○			○	A
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の方向性	拡充				①何度も足を運んでもらえるよう定期的に企画展を開催し、魅力ある展示内容や効果的な宣伝を考えていきます。また、施設のPRを図るため、中央図書館と連携した展示や講座にも取り組みます。 ②ガイドボランティアの活動に興味を持ってもらえるよう、東浦ふるさとガイド協会と協力して、誰でもできる・楽しくできるガイドなど活動内容の紹介等を行います。 ①②とあわせて、全小学校への来館学習を働きかけ、学校との連携を進めて、来館者数の増加へつなげます。						
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
		皆減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性					

令和 5 年度 細事業評価シート (評価対象年度: 令和 4 年度)

事業名		郷土資料館事業		担当課		生涯学習課 文化財係			
No.	細事業名	概要			2022(R4) 年度 決算額 (千円)	2023(R5) 年度 予算額 (千円)	今後の方向性		
		対象	手段	意図			成果	コスト	
1	企画展開催事業	住民	収蔵資料等を活用し、企画展を開催して	東浦町の歴史や文化財への関心や親しみを高めてもらいます。	1,642	2,111	現状維持	現状維持	
2	ガイドボランティア養成講座事業	ガイドボランティアになる意欲がある住民	講座を開催して	東浦ふるさとガイド協会の会員になってもらいます。	25	34	現状維持	現状維持	
3	講座開催事業	住民	講座・教室を開催して	東浦町の歴史や文化財への関心や親しみを高めてもらいます。	683	800	現状維持	現状維持	
4	郷土資料館関連事業	住民	パンフレットや図書を印刷し配布するとともに、収蔵資料等の保存活用を図る事業を行うこととで	東浦町の歴史や文化財への関心や親しみを高めてもらいます。	763	2,022	現状維持	現状維持	
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
事務事業合計					3,113	4,967	現状維持	現状維持	

令和 5 年度 事務点検・評価表 (評価対象年度: 令和 4 年度)

区分 ソフト

総合計画	施策の方向	2 人を育み、人を活かすまちづくり	項	2 生涯学習	掲載	66	頁
	施策	3 文化振興	取組	1 郷土の歴史・文化財の保存・活用			

事業名		郷土資料館管理事業			SDGs		4、17				
担当課		教育部 生涯学習課 文化財係									
目的	誰を・何を(対象)	郷土資料館及び収蔵資料等									
	どのようにしたいか(意図)	・設備等の保守や修繕等により適切に維持管理し長寿命化を図ります。 ・東浦の歴史を語る貴重な資料を適切に維持管理し、後世へ伝えます。									
事業費(千円)		2021(R3) 年度決算額			2022(R4) 年度決算額 対前年比(%)		2023(R5) 年度予算額 対前年比(%)				
		15,162			43,785 289%		17,028 39%				
財源内訳	国・県支出金	0			0 0		0 0				
	受益者負担	156			140 90%		156 111%				
	その他特定財源	17			32 188%		39 122%				
	一般財源	14,989			43,613 291%		16,833 39%				
職員数(人)		0.55			0.55 100%		0.53 96%				
主な事業実績 (評価指標)		2020(R2)			2021(R3)			2022(R4)			単位
		実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	実績値	目標値	達成率	
指標①		-									
指標②		-									
主な事業内容		①施設の保守点検委託 ・消防設備、防犯警備、電気施設の保守点検 ・清掃業務、植栽等維持管理業務、防犯警備業務、収蔵資料くん蒸業務委託 ②施設の修繕・工事 ・空調機更新工事									
成果		①施設の適正な維持管理を行い、利用者が安全に利用できる施設を保つことができました。 ②計画的に施設の修繕・工事を行うことができました。設置後24年経過した空調機の更新を行い、施設の長寿命化を図ることができました。									
課題		資料の保管場所が不足しており、新たな保管場所が必要です。									

評価視点										総合評価	
必要性			有効性				効率性			A A:計画どおりに事業を進めることが適当 B:事業の進め方の改善の検討 C:事業規模・内容・主体の見直しを検討 D:事業の統合・休廃止を検討	
		○			○			○			
低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い	低い	やや低い	やや高い	高い
今後の方向性				事業の改善点・今後の具体的な取組等							
成果の 方向性	拡充					・資料の保管場所を増やすために既存の保管場所の整理を行うなど場所・建物を検討します。 ・施設建設後24年経過しており、今後は大規模な修繕・工事が必要になることが想定されるため、より計画的に施設の更新を行い施設の長寿命化を図ります。					
	現状維持			○							
	縮小										
	休廃止										
		増減	縮小	現状維持	拡大	コスト投入の方向性					